

in名古屋

近畿大学 農学部

公開講座2018

「農学」の

ふしぎでたのしい

はじまりはじまり

開催日時 10月13日(土)
10:30~13:10 (受付開始10:00)

会場 名古屋マリオットアソシアホテル
(16階・アイリス)
名古屋市中村区名駅1-1-4

講演① 10:40~11:30

講演② 11:50~12:40

プログラム



〈講師〉
近畿大学 農学部
農業生産科学科
准教授
おおいし たかふみ
大石 卓史

〈テーマ〉

農の恵みを守り、活かす
～農業・農村の有する多様な役割～

〈要旨〉

衰退の危機にある日本の農業・農村ですが、農産物の生産以外にも多様な役割を担っています。将来にわたって、農の恵みを守り、活かしていくためには、どのような取り組みが重要となるのでしょうか。本講座では、中でも、生物多様性の保全や田んぼ沼の役割に焦点をあて、関連する研究成果とあわせて紹介を行います。



〈講師〉
近畿大学 農学部
食品栄養学科
教授
よめだに たかし
米谷 俊

〈テーマ〉

身近な食品の
生活習慣病予防効果

〈要旨〉

食の欧米化、運動不足の生活習慣などにより、生活習慣病が依然として増加しています。食品の機能性(栄養機能、嗜好機能、体調節機能)は、日本が世界に先駆けて提唱した概念で、機能性食品の研究では日本が世界をリードしています。本講座では、研究で見いだされた身近な食品(みかん、柿など)の機能性についてお話しします。

10:00~	受付・開場
10:30~10:40	開会・挨拶
10:40~11:30	講演①【講師】 農学部 農業生産科学科 准教授 大石 卓史
11:30~11:50	休憩
11:50~12:40	講演②【講師】 農学部 食品栄養学科 教授 米谷 俊
12:40~13:10	マクロ試食会
13:10	終了

受講無料!

事前申込不要/定員160人(先着順)

定員充足の場合、ご参加いただきかねますことをあらかじめご了承ください。

近畿大学 農学部 公開講座 2018

講演① 10:40~11:30

講演② 11:50~12:40

講師 近畿大学農学部 農業生産科学科 准教授 大石 卓史

講師 近畿大学農学部 食品栄養学科 教授 米谷 俊



■プロフィール
 平成12年 京都大学農学部卒業
 平成14年 京都大学大学院農学研究科修士課程修了
 平成14年 株式会社UFJ総合研究所 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究員
 平成17年 株式会社アマタ持続可能経済研究所 上級研究員
 平成19年 京都大学大学院地球環境学舎博士課程修了、博士号取得
 平成22年 株式会社自然産業研究所 取締役兼上級研究員
 平成25年 日本大学生物資源科学部 助教
 平成26年 近畿大学農学部 講師
 平成29年 近畿大学農学部 准教授
 現在に至る

■現在の専門
 環境保全型農業、農産物マーケティング、環境評価・環境経済、農山村振興、アグリビジネス

■受賞歴
 平成29年 第17回環境情報科学センター賞 学術論文奨励賞
 平成29年 第15回林業経済学会奨励賞



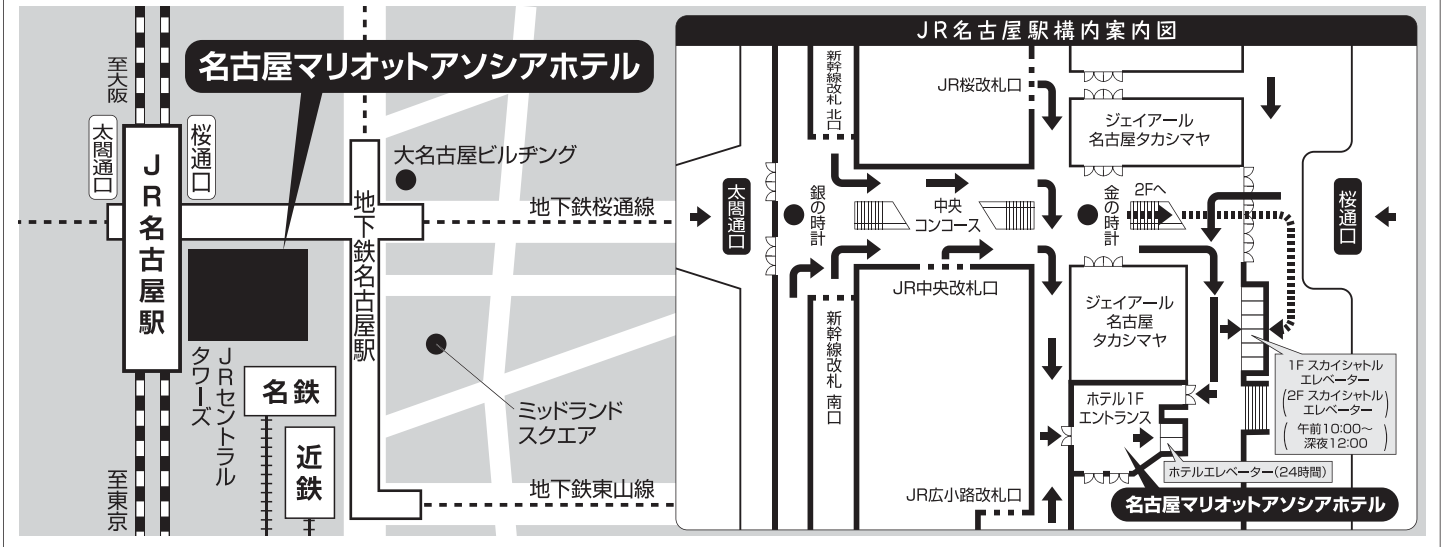
■プロフィール
 昭和53年 京都大学農学部卒業
 昭和55年 京都大学大学院農学研究科修士課程修了
 昭和55年 江崎グリコ(株)入社(研究所配属)
 昭和61年 江崎グリコ(株)生物化学研究所
 平成 6年 京都大学農学博士
 平成12年 江崎グリコ(株)中央研究所 所長
 平成19年 江崎グリコ(株)健康科学研究所 所長
 平成21年 江崎グリコ(株)研究本部 技術参与
 平成23年 近畿大学農学部 教授
 現在に至る

■現在の専門
 食品機能学、栄養化学

■受賞歴
 平成 9年 日本生物工学会 論文賞
 平成12年 日本缶詰協会 技術賞
 平成16年 日本食品科学工学会 技術賞

ACCESS

◆JR「名古屋駅」から約1分、名鉄・近鉄「名古屋駅」から約2分



◆お問い合わせ先

近畿大学 農学部事務部

〒631-8505 奈良市中町3327-204 TEL. (0742) 43-1849
 URL <https://www.kindai.ac.jp/agriculture/>

農学は新たな未来を切り開く、無限の可能性を秘めた学問です。近畿大学農学部では6つの学科から、現代社会が抱える食や環境、健康の諸問題にアプローチ。それぞれの分野で、日々最先端の研究に取り組んでいます。

- | | |
|---|--|
| <p>学科紹介</p> <p>農業生産科学科</p> | <p>「探る・作る・儲ける・尖る」の4つの視点から農学を追究する、農学分野の中心学科
 「生物現象の探求(探る)」「農産物の生産(作る)」「アグリビジネスへの展開(儲ける)」「先端農業への挑戦(尖る)」の4つの視点をもとに、近畿大学ならではの農学を追究します。</p> |
| <p>水産学 科</p> | <p>食糧と環境の分野から水産資源の有効利用を追究
 生物・増養殖・漁業・水産加工業など水域の食糧生産にかかわる学問分野から、生態系の評価・保護・改善などの環境保全分野まで、幅広い分野の教育・研究を進めています。</p> |
| <p>応用生命化学科</p> | <p>生命の特性を化学的視点から理解し、社会に役立つ応用研究を行う
 生命・資源・食糧・環境の4つの柱のもとに、化学と生物の力で「豊かな暮らし」を実現し、生物の特性を生かした「役に立つ」研究を行っています。</p> |
| <p>食品栄養学科
 【管理栄養士養成課程】</p> | <p>時代のニーズにこたえられる、食と健康のスペシャリストを育成
 人間生活の基礎要素である食・栄養・健康に関する問題を研究するとともに、管理栄養士養成課程として、地域・福祉・医療などの現場で活躍できる人材を育成します。</p> |
| <p>環境管理学科</p> | <p>環境問題と真摯に向き合い、自然と人間社会の共生をめざす
 絶滅危惧種の保全、環境の修復・緑化、途上国の環境保全などを具体化するための研究・政策立案など、環境問題にさまざまな角度からアプローチできる人材を育てます。</p> |
| <p>生物機能科学科[*]</p> | <p>生物機能を探求し、先端科学で医療・創薬・食糧・エネルギー問題を解決
 最先端の生命工学研究と実践的研究を融合させ、ユーグレナによるジェット燃料生産や、iPS細胞を利用した再生医療の技術開発など、生物資源を利用した「ものづくり研究」に取り組んでいます。</p> |
- *2019年4月、バイオサイエンス学科から名称変更